

栃木放送平成 25 年度第 2 回 5 月期定例番組審議会議事録

1.開催の日時 平成 25 年 5 月 23 日(木)午前 11 時

2.開催の場所 栃木放送本社会議室

3.委員の出席 委員総数 9 名

出席委員 9 名

欠席委員 0 名

出席委員名	委員 長	増 田 仲 夫
	委 員	鈴 木 正 好
	委 員	太 田 照 男
	委 員	竹 内 明 子
	委 員	小 島 俊 一
	委 員	岩 村 由 紀 乃
	委 員	高 野 俊 浩
	委 員	石 崎 均
	委 員	中 里 勝 夫
局側出席者氏名	代表取締役社長	水 沼 富 美 男
	常務取締役	竹 澤 一 夫
	報道制作局長	高 瀬 一 也
	報道制作部	飯 田 絵 里

4 議 題

(1) 「開局 50 周年記念ラジオスペシャル

船村徹ふるさと物語 関谷忠一・嶋均三と語る」について

(2) その他

5 議事内容

(1) 「船村徹ふるさと物語 関谷忠一・嶋均三と語る」について

試聴番組：平成 25 年 5 月 19 日（日）放送

「船村徹ふるさと物語」のおよそ 15 分間を試聴

議題説明：報道制作部 飯田絵里が番組概要について説明。

次に審議に入る。

各委員からは、

いい番組だった。実際に車を停めて聞いてしまった。

船村さんを立てるのか、対等の話し合いなのか評価が分かれるところだと思う。聴いた感じでは関谷さんの話が多かったように感じる。「山の日」については、海なし県は少数なので、難しいかなと思う。

栃木放送だからできる企画だと思う。山があるから海があるという発想は素晴らしい。

聞いていて違和感がない。栃木の人に聞かせているので、聞きづらいということがないのだと感じた。

50 周年の企画としてよかった。船村さんの言葉での表現が素晴らしい。評価したい。

笑いあり、しみじみとしたところありで、聞き入ってしまう。

聞き手が途中で話を折ってしまうところがあったのが残念。

構成もよく、非常によかった。船村さんはすごい人だと感じた。

もっと船村さんの人となりが出るといいと思ったが、いい企画だった。

方言の親しみやすさ、大切さを感じた。船村さんの本を読んで知っている人にはあまり新鮮味がなかった。

船村さんが提唱する「山の日」は登山家のニュアンスとは違い、里山のイメージではないのか。

船村さんのメロディは栃木県の人には染みると思う。

30 代など若い世代の人がどう聞いてくれるかと思う。

船村さんの生きてきたそのままだが言葉になっているので、各世代の人の心に響くと思う。

などの意見が出された。当社としては、これらの意見を参考に、今後の番組作りに取り組んでいきたい旨を説明した。

(2) その他

平成 25 年度第 3 回 6 月期の審議会を平成 25 年 6 月 20 日 (木) に開催することを決めて閉会した。